



広島市中区医師会会報

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号大手町平和ビル2階 TEL (082) 504-6681 FAX(082) 504-6685
ホームページ <http://nakaku.city.hiroshima.med.or.jp> 編集責任者 広島市中区医師会会長 田邊 徹行

■ 江波圏域多職種連携会議報告

日時：2021年2月13日(土) 16:00~17:00

開催形式：WEB配信(ZOOM)

視聴者：64名

講演：「8050問題 引きこもり支援について」

講師：広島ひきこもり相談支援センター

業務責任者 齋藤 圭子 様

今回のテーマは『引きこもり支援』ということで、3つのテーマを軸に ①NPOの活動について ②ひきこもり支援の現状 ③8050問題やコロナの影響についてご説明いただきました。

ひきこもりの要因は人の数ほどあり、その人にとっての糸口はなにか、何がひきこもりの状態を維持させているかを話されました。また問題となっている『8050問題』にも触れられ、80代の親が収入のない50代の子どもの生活を支え、行き詰っている世帯のことを指します。

今後はコロナによるひきこもり問題への影響も見え、講演後には多くの質問が寄せられました。



■ 第84回中区医師会学術講演会報告

日時：2021年2月17日(水) 19:15~20:30

開催形式：WEB配信(Microsoft Teams)

視聴者：44名

講演：「心不全の病診連携にむけて」

講師：あかね会土谷総合病院 循環器内科

部長 為清 博道 先生

日本は高齢化が進み、心不全患者が増加の一途を辿っており、これまで以上に病診連携が大切となってきています。心不全治療の考え方や薬の具体的な使い方について説明いただきました。

最近では、ARNI、バグジン、SGLT2阻害剤が日本でも処方可能となり、心不全治療の幅が広がっております。また、高齢者では心房細動や虚血性心疾患、大動脈弁狭窄症の合併も多く、アブレーションの適応、カテーテル治療後の抗血栓療法、TAVIの現状についても説明いただきました。



中区医師会からのお知らせ

『第86回中区医師会学術講演会』

日時：2020年4月21日(水) 19:15~20:30

開催形式：WEB参加(ZOOM)

※会場参加(50名限定)は定員となりました。

演題：「不眠と言われたらなすべきこと -診たて、指導、おくすり-」

講師：広島市立広島市民病院 精神科 主任部長 和田 健 先生

参加：中区医師会事務局 TEL 504-6681 にて受付中 (締切：4/12まで)